

総合防災IoTステーション

災害監視に特化した安価な独自端末で防災モニタリングの常識が変わる



- Point 1** 遠隔データ収集・制御に必要とされる機能の多くをソフトウェア化して内蔵
- Point 2** 防災用途に利用可能なセンサー用接続設定を端末に多数プリセット
- Point 3** 省電力設計、RS-485、Modbus、16bit の分解能など、最新の計測トレンドに対応

総合防災IoTステーションは、様々なセンサー・計測器をリモートでクラウドと接続することによって、地震・津波・台風・洪水・高潮・高波・火山噴火・雪崩・土石流などの自然災害の危険をいち早く検出し、早期対応や早期避難を促すためのソリューションです。その核となる端末「クラウドロガー」は、当社が様々な防災システムを構築した中で培われたノウハウやユーザーニーズを満たす機能・仕様が徹底して盛り込まれています。これまでの一般的な防災システムが既存製品の複雑なインテグレーションであったのに対し、クラウドロガーは防災に必要とされる機能・仕様を小さくシンプルな筐体にソフトウェアとして実装しており、消費電力や筐体サイズ、製造コストなどの面で圧倒的な優位性を獲得しています。総合防災IoTステーションをハブとして、無数のセンサーが災害を監視する社会を実現することで、人々により安心な生活を提供すべく、本製品の展開を行います。

システム構成例

